

令和7年（2025年）度行政評価シート【個表】

令和7年6月20日

評価対象事業		評価者	商工課長 角田 如生	
市民-28	就労支援事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	商工課
重点事業		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	6-(3) 勤労者福祉	施策の方針	6-(3)-①労働環境の充実

1 事業の目的

対象	勤労者等
意図	労働問題への啓発を図るとともに、各種セミナー・相談などを通して就労支援を図るため。
効果	勤労者等の労働環境の向上及び就労促進

2 令和6年(2024年)度実施した事業の概要

- 労働環境調査を行い、市内事業所の労働実態を把握するとともに労働問題への啓発を図った。
- 求職者等に向けた就労支援事業を行った。
- 勤労者等に向けた労働相談等事業を行った。
- 鎌倉で働くことを希望する市民等に向けた合同就職説明会等を行った。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和6年度		令和7年度	達成度
				指標(実績値/目標値) 事業費(決算/当初)(千円)	指標(目標値) 予算額(千円)	指標(目標値) 予算額(千円)	
01	労働環境調査事務	労働環境調査	—	/	0 / 0	0	—
02	就労支援事業	合同就職面接会の開催、就職支援相談	湘南合同就職面接会参加者(人)	97 / 100 1,753 / 2,031	100 2,049	100 2,049	97.0%
03	労働相談事業	労働相談業務委託、メンタルヘルスカウンセリング業務	—	/	457 / 489	489	—
04	若年者就労支援事業	就労困難若年者支援業務委託等	—	/	891 / 891	891	—
05	女性就労支援事業	女性就労支援のための協働事業	女性セミナー参加者(のべ人)	33 / 310 80 / 330	80 330	80 330	41.3%
06	一般事務経費	消耗品	—	/	52 / 60	100	—
07				/			
08				/			
09				/			
10				/			
		財源内訳	国県支出金	149 / 165	165	165	
			地方債	/			
			その他特定財源	/			
			一般財源	3,314 / 3,636	3,636	3,694	
			事業費の合計(千円)	3,463 / 3,801	3,801	3,859	
		人件費(千円)		20,520	19,535		

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	1.9	1.0	1.9	1.9	1.9	1.9
会計年度任用職員	0.7	1.3	1.3	1.4	3.4	2.4

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	労働環境調査事務	本調査は労働施策の方向性の参考とするためのものであり、指標の設定には馴染まない。	市内事業所における勤労者の労働環境を把握し、労働施策の検討資料として活用するとともに、労働問題の啓発を図ることにより労働環境の充実に寄与する。	調査結果を本市の労働施策に活用できるように毎年設問内容を検討する。労働環境のより正確な把握のため、回収率の向上を図る。
02	就労支援事業	令和6年度から従来の実行委員会から連携協定方式に改め、周知媒体やチラシデザインを工夫するなどした結果、参加者数は目標に達しなかったものの、5年度に比べて大幅に伸びた。	誰もがライフステージや希望にあった多様な働き方ができる「働くまち鎌倉」の実現に寄与する。	6年度当初予算に計上していた若者就労支援委託料は、5年度の実施状況に鑑みて事業のあり方を見直し、予算流用して若者向け合同就職説明会を開催した。
03	労働相談事業	相談事業は解決に時間を要し、さらに件数で効果を図れるものではないため、指標の設定には馴染まない。	雇用や労働環境に不安や不満を持つ勤労者への相談を実施することにより、勤労者が安心して働くことができる環境整備に寄与できる。	労働相談の利用者の増加が必ずしも望ましい傾向とは言えないが、必要な方に支援が行き渡るよう、引き続き事業の周知に努める。
04	若年者就労支援事業	当該事業は就労困難若年者の相談事業がメインとなっているが、相談事業は解決に時間を要し、さらに件数で効果を図れるものではないため、指標の設定には馴染まない。	誰もがライフステージや希望にあった多様な働き方ができる「働くまち鎌倉」の実現に寄与する。	就労困難若年者とその家族の個々の事情は多様化しており、引き続き当事者等が相談しやすく、必要な支援を提供できるように努める。その他の若者に対する雇用支援については、より若者のニーズに合った取組になるよう、引き続き、検討していく。
05	女性就労支援事業	就労に結び付きやすい企業との懇談やインターンシップなど伴走型支援を図ったが、6月から11月までの開催期間中に夏休みがあり、期間中に事情が変わるなどで欠席する方が増え、回を追うに従い参加者が減少する傾向となった。	誰もがライフステージや希望にあった多様な働き方ができる「働くまち鎌倉」の実現に寄与する。	引き続き企業との接点を設ける伴走型支援を軸としつつ、短期間で就労に結び付く支援となるよう開催時期を検討し、参加者増と就労実績の増を図る。
06	一般事務経費	消耗品購入費のため、指標の設定は対象外。		
07	0			

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	1 実施済み
	関連・類似する事業の統合はできないか	1 統合済み
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-2 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済 協働実施済の場合のパートナー かまくら主婦'sネットワーク
		○-1 市民等と協働して事業を実施しているが、協働のあり方等の見直しが必要な事業がある

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善・変更	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
<p>高齢者・女性・就職氷河期など多様な世代の就労支援を実施し、就職支援相談により、相談者のライフステージや希望に合った働き方ができるよう支援をしていく。 また、働き方に制約のある高齢者や女性などのこれまでの技能や経験を活かすことができるよう、就労支援を継続する。</p>					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	湘南合同就職面接会の参加者数						単位	人
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
面接会の参加者が増えることで就労支援につながったと考えられるため。	目標値	60	70	80	90	100	100	
	実績値	46	77	54	61	97		
	達成率	76.7%	110.0%	67.5%	67.8%	97.0%		

指標(単位)	女性のセカンドキャリアステップセミナーの参加者数						単位	人
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
セミナーの参加者が増えることで就労支援につながったと考えられるため。	目標値	60	80	80	80	80	80	
	実績値	42	29	50	55	33		
	達成率	70.0%	36.3%	62.5%	68.8%	41.3%		

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	労働環境調査を実施している自治体							
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	逗子市	三浦市
他市実績	○	×	×	○	×	×	×	×
	毎年実施			令和元年度				

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	同様の調査を実施している自治体は少ない(川崎市は毎年実施、相模原市及び寒川町は数年ごとに実施)。平塚市も産業振興計画に反映させる為に実施したもの。本市においては労働施策をはじめとする市の施策のための調査と位置付けている。
----------------------	--